

内令兵第二十二號

左ノ通兵器ニ採用ス

昭和十六年四月二日

海軍大臣 及 川古志郎

兵器名稱	用途	略符
一式一號機銃火藥	二十五耗機銃彈藥包用	K81

備考 當分ノ間艦船搭載年限ヲ八年トス

内令兵第二十三號

運用長主管兵器中左ノ通名稱ヲ改正ス

昭和十六年四月二日

海軍大臣 及 川古志郎

改正名稱	舊名稱
輕防毒衣	輕防毒具

内令兵

四七

0402

内令兵

四八

(兵器名稱改正ノ節ハ兵器彙其ノ他諸令違中關係ノ箇所訂正方ノ件内令提要卷三、三三四頁参照)

内令兵第二十四號

十二試陸上攻撃機ヲ兵器ニ採用シ一式陸上攻撃機一型ト呼稱ス

昭和十六年四月二日

海軍大臣 及 川古志郎

内令兵第二十五號

十二試陸上攻撃機改ヲ兵器ニ採用シ一式大型陸上練習機一型ト呼稱ス

昭和十六年四月二日

海軍大臣 及 川古志郎

0403

内令兵第二十六號

昭和十五年内令兵第三十五號別表中左ノ通改正ス

昭和十六年四月十日

海軍大臣 及川古志郎

一、岩國海軍航空隊ノ項ヲ左ノ如ク改ム

岩國海軍航空隊							
九五式水上偵察機		九七式二号艦上攻撃機		九六式艦上爆撃機		九六式四号艦上戦闘機	
發動機	機体	發動機	機体	發動機	機体	發動機	機体
二基	二基	二基	二基	二基	二基	二基	二基
一基	一基	一基	一基	一基	一基	一基	一基
操縦訓練用							

内令兵

四九

0404

内令兵

二、岩國海軍航空隊ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

九四式一 号水上偵察機	
機 体	二 基
發 動 機	二 基
機 体	一 基
發 動 機	一 基

五〇

土浦海軍航空隊					
九四式一 号水上偵察機		九五式水 上偵察機		九七式一 号艦上攻撃機	
機 体	三 基	機 体	三 基	機 体	三 基
發 動 機	三 基	發 動 機	三 基	發 動 機	三 基
機 体	二 基	機 体	二 基	機 体	二 基
發 動 機	二 基	發 動 機	二 基	發 動 機	二 基
操縦訓練用					

参照 昭和十五年内令兵第三十五號ハ當分ノ間各海軍航空隊航空機ハ定數外トシテ別表ニ依リ必要數ヲ供給スルコトヲ得ルノ件ナリ

0405

内令兵第二十七號

試製九四式四十糎砲及試製九四式四十糎砲試製九一式徹甲彈ヲ兵器ニ採用シ左ノ通呼稱ス

昭和十六年四月十日

海軍大臣 及 川古志郎

兵器名稱	舊名稱
九四式四十糎砲	試製九四式四十糎砲
九四式四十糎砲九一式徹甲彈	試製九四式四十糎砲試製九一式徹甲彈

内令兵第二十八號

昭和十五年内令兵第五十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十六年四月十日

海軍大臣 及 川古志郎

佐世保海軍航空隊ノ次ニ左ノ如ク加フ

内令兵

五一

0406

内令兵

五二

軍艦 瑞鳳		三一、七三三	一三三、三三三	三七三		四六六	一、二六〇
軍艦 赤城		八五、八〇〇	六一、二〇〇	九九三	五四	四六六	三、五五〇
軍艦 鬼怒、沖島 長良、迅鯨		各一、〇六六		各九			各三三三
第一航空隊	五、四六六	九九、六六六	四五、〇〇〇	一、三六〇		一、三六六	三、五五〇
第三航空隊	五、四六六	五四、六六六		八二〇		一、三六六	三、二八〇

一八六	一四〇	七四	一八	七四六	四六六	一八	五
一八六	三三〇	一八二	五四二	一八六	八二六	五四	五
	各六六各	二六各	五各	一三三各	五三各	二六	
五四六	五四六	五四六	二、七三三	四、一〇〇	五四		
五四六	五四六	五四六	二、七三三	四、一〇〇	五四		

二〇耗機銃彈藥包ノ欄
 軍艦龍驤ノ行ニ九〇〇、軍艦加賀ノ行ニ一、八〇〇、軍艦蒼龍、飛龍ノ行ニ各九〇〇ヲ加フ

0407

軍艦高雄、那智、熊野、利根、足柄ノ行中
 軍艦足柄及第七、八航空隊ノ行ヲ左ノ如ク改ム

軍艦 足柄	一〇、四〇〇	六、〇〇〇	一二七				一二五
第十六航空隊	四、八〇〇		四二				一五〇
第十八航空隊	一四、四〇〇	六、〇〇〇	一六二				三五〇

	一三〇	六〇	二〇	二八〇	一二〇	八〇	
	三〇〇	一二〇	二四	六〇〇	一二四〇	一二〇	
	三八〇	一六〇	四〇	七八〇	三三二〇	一八〇	

参照 昭和十六(教育)年度航空訓練用(一般用)射撃、爆撃、雷爆、火工及化學兵器消耗年額ノ件ナリ

内令兵

五三

0408

内令兵第二十九號

距離概測鏡ヲ兵器ニ採用ス

昭和十六年四月十一日

海軍大臣 及 川古志郎

内令兵

五五

0409

内令兵第三十號

航空機用機銃臍中除銅用ニッケルソルベント、アンモニア、手入用布及機銃彈頭塗料並ニ同溶解用メタノールノ年額ヲ左ノ通定ム

昭和十年内令兵第三十九號ハ之ヲ廢止ス

昭和十六年四月十七日

海軍大臣 及 川古志郎

品名	數稱	每(常用)一挺(教育年度)
ニッケルソルベント	錠	二五
アンモニア	庇	〇・五
フランネル	米	一〇
機銃彈頭塗料 (赤、青、黄、紫、綠)	瓦	五
メタノール	庇	定數二〇挺未滿ノ所轄 定數二〇挺以上ノ所轄 〇・五

内令兵

五七

0410

内令兵第三十一號

火藥製造検査規則中左ノ通改正ス

昭和十六年四月二十二日

海軍大臣 及 川古志郎

第四條 第二海軍火藥廠長ハ他ノ海軍火藥廠長及關係海軍工廠長ト協議ノ上火藥ノ製造検査ニ對スル試験法ヲ定メ海軍艦政本部長ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依ル試験法ハ其ノ寫ヲ他ノ海軍火藥廠長、海軍工廠長（廣海軍工廠長及光海軍工廠長ヲ除ク以下之ニ同ジ）、海軍技術研究所長及造兵監督官（火藥製造検査ニ従事スルモノ以下之ニ同ジ）ニ送付スベシ

第五條 第二海軍火藥廠長ハ他ノ海軍火藥廠長及關係海軍工廠長ト協議ノ上火藥ニ對スル製造法要領ヲ定メ海軍艦政本部長ニ提出スベシ

前項ノ規定ニ依ル製造法要領ハ其ノ寫ヲ他ノ海軍火藥廠長、海軍工廠長、海軍技術研究所長及造兵監督官ニ送付スベシ

第九條第一項及第二項中「海軍火藥本廠長、海軍火藥支廠長」ヲ「海軍火藥廠長」ニ改ム

内令兵

五九

0411

内令兵

六〇

第十一條 海軍艦政本部長同一藥種ノ火藥ヲ部内及部外ニ註文スル場合ニハ監督長又ハ首席監督官
ハ當該火藥ニ付海軍艦政本部長ノ指示スル海軍火藥廠長ト検査成績ヲ交換スルト共ニ製造検査ニ
關シ十分ナル氣脈ヲ通ズベシ

0412

内令兵第三十二號

昭和十五年内令兵第六十號別表一 昭和十六年度聯合艦隊艦艇化學兵器年額中左ノ通改正ス

昭和十六年四月二十四日

海軍大臣 及 川古志郎

青色發煙筒ノ項中聯合艦隊司令部ノ欄「二〇〇」ヲ「二〇〇」ニ改ム

備考五中第二艦隊司令部「同大二三」一九個」ヲ「同大二三」一七個」ニ改メ「第六艦隊司令部

（同 小）四個」ノ次ニ「第一航空艦隊司令部（同大二三）四個」ヲ加フ

内令兵

六一

0413